

一人ひとりに寄り添い身近な存在に

TAKE FREE
ご自由にお取りください

かし和

2025.1 43

柏市立柏病院広報誌



特集

糖尿病ケアサポートチーム

糖尿病をもっと知ろう

- 🔍 気になる!こどものアレルギー 小児科医による「市民講座」を開催
- 🔍 縁起も健康もよくなりますように! かし和食卓日記「八幡巻き」

topics

- お薬の受け取り方法が変わります 院内調剤終了のお知らせ
- イベント開催しました「骨粗しょう症デー」

糖尿病をもっと知ろう

市民講座を開催しました

糖尿病センターでは毎年2回、地域の方々を対象に市民講座を開催しています。市民講座は、疾患の有無などに関係なくどなたでもお気軽にご参加いただけます。今年度の市民講座は7月6日(土)に柏市立柏病院、11月25日(月)にアミュゼ柏で開催しました。

早いもので市民講座の開催も今年度で12回、13回目となりました。

7月のテーマを

『療養生活を送るあなたへ 今だからこそ聞いてほしい 災害への対策』

11月のテーマを

『糖尿病と腎臓 今から予防、知れば安心 ～糖尿病と大切な腎臓のお話～』

と題し医師を中心に当院の医療スタッフが講演を行いました。



内分泌代謝内科
稲澤 健志 医師

7月

療養生活を送るあなたへ 今だからこそ聞いてほしい 災害への対策

日常とは異なる災害時の療養生活について講演を行いました。

災害時に知っておいて欲しい事や日頃からの備え、被災してしまった際の対応、災害時に出来る健康づくりなど、災害時によりよい療養生活を送れるようにお手伝いする事を目的として実施されました。



11月

糖尿病と腎臓 今から予防、知れば安心 ～糖尿病と大切な腎臓のお話～



糖尿病と腎臓をテーマに講演を行いました。糖尿病の合併症の一つである腎臓病にかかるリスクを少しでも軽減する事を目的として、専門的な講演から運動や塩分が腎臓に与える影響など、今日から出来る簡単な対策まで、幅広い内容となりました。

また健康体験コーナーでは、体組成計、血圧測定、筋力測定を実施しました。

来年度の市民講座の予定は、院内掲示板や病院ホームページなどに掲載いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

糖尿病ケアサポートチーム (DCST) とは

糖尿病は慢性疾患であり、生活習慣の改善も多大な時間や労力を要します。

患者さんが糖尿病と向き合い、自己管理能力を高めてよりよい生活を営めるように援助・指導するためのチームを**糖尿病ケアサポートチーム (DCST)** と呼びます。

糖尿病患者さんの日常的な療養生活のサポートを行い、症状の重症化や糖尿病性腎症、糖尿病性神経障害、糖尿病網膜症などの合併症を予防しています。

医師のほかに、看護師や薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師など様々なスタッフがチームで患者さんを支える取り組みを行っています。



様々な専門のスタッフがチームで支えます

患者さんやチームメンバーから得た情報を総括し治療を行います。



医師

看護部



「フットケア」や歯周病などについて説明をします。教育入院では、足のケア方法や歯周病の予防などをお伝えしています。

管理栄養士が食事療法について説明をします。普段の生活習慣などを聞き、適正でバランスの良い食事についてお話します。



栄養科

薬剤科



薬剤師が薬物療法について説明をします。治療に使われている薬を理解する事によって、前向きに治療ができるようお手伝いします。

臨床検査技師が検査や検査結果について分かりやすくお話しします。



検査科

リハビリテーション科



理学療法士が運動療法について説明をします。運動の効果の説明や具体的な方法を提案します。

教育入院について

患者さんやご家族が糖尿病について深く理解し、治療に必要な食事や運動などの生活習慣を見直すための“教育入院”を行っています。

糖尿病患者さんに約2週間入院していただき、糖尿病の集団指導を実施しています。糖尿病とはどんな病気なのか、食事・運動などの療法ポイントを専門スタッフが説明し、糖尿病についての知識を深められるような講義活動を行っています。

また、食事や飲み薬・注射薬の見直し、糖尿病合併症の状態を評価する検査も実施しています。現在、糖尿病と診断されている方であればどなたでも対象となります。



糖尿病の患者さん向けの生活指導やフットケア外来などもございます。興味のある方は外来受診の際に主治医やスタッフにお声がけください。

市民講座（小児科）

気になる！こどものアレルギー

が開催されました。

アトピー性皮膚炎や食物アレルギーをもつお子さんはたくさんいらっしゃいます。

当院のアレルギー専門の小児科医師が分かりやすくお話ししました。

始まりのご挨拶 田邊院長▶



プログラム①

知っておきたい！

アトピー性皮膚炎や食物アレルギー

小児科 木口 智之 先生（日本小児科学会専門医）

- 1 アトピー性皮膚炎とは
- 2 食物アレルギーとは
- 3 アトピー性皮膚炎と食物アレルギーの関係
- 4 アトピー性皮膚炎の治療
- 5 食物アレルギーの治療や管理

ポイント！ アトピー性皮膚炎と食物アレルギーの関係

炎症のある肌からはアレルギーの原因となる物質（アレルゲン）が入り込みやすくなっています。そのため、食物をアレルギーとして覚える（感作される）原因となるのです。

➡お肌をきれいな状態にすることがとても大切です！



プログラム②

アレルギーの検査ってどんなもの？

小児科 金井 保澄 先生（日本小児科学会専門医）

- 1 血液検査
- 2 プリックテスト
- 3 食物負荷試験



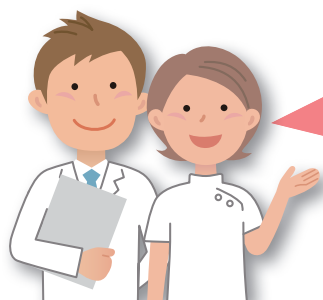
ポイント！ アレルギーの検査をする前に…

本当に食物アレルギーか、どのような検査が必要かを考えるにはお話を聞くこと（問診）が一番大切です。

- ・赤ちゃんの時から肌荒れがあり、ステロイドを使うとよくなるけど、使うのをやめるとぶり返してまた肌が荒れてしまう。どうしたらいい？
- ・〇〇を食べたらじんましんが出た！アレルギーかな？
- ・〇〇のアレルギーかもしれないけど、どうやって検査したらいいの？
- ・スギやダニの舌下免疫療法をやってみたい！



➡お気軽にご相談ください



お話を聞かせていただき、
一緒に考えましょう。
アレルギー外来でご相談を
お待ちしております！

終わりのご挨拶 田口副院長▶



柏市立柏病院 小児科専門外来（予約制）のご案内

紹介状なしでの予約もお取りしていますが、他院通院中の方は紹介状をご用意ください。
必要な患者さんは大学病院などと連携をとって診療いたします。お気軽にご相談ください。

専門外来	対象疾患
神経・発達	てんかん、発達障害、心身症、慢性頭痛、睡眠障害 など
アレルギー	食物アレルギー、アトピー性皮膚炎 など
内 分 泌	低身長、思春期早発、糖尿病、甲状腺機能異常 など
循 環 器	心雑音、心電図異常、先天性心疾患 など
腎 臓	血尿・蛋白尿、慢性腎疾患、夜尿症 など
血液・免疫	不明熱、周期性発熱、先天性免疫異常 など
小 児 外 科	便秘、鼠径・臍ヘルニア、陰嚢水腫 など

予約方法

病院ホームページの「小児オンライン問診」から、「専門外来・予防接種
新規予約」を選択して情報を送信してください。
確認後、当院から予約日時相談のお電話をさせていただきます。



小児オンライン問診

八幡巻き



※当院で実際に提供している病院食です

八幡巻きとは、京都府八幡市の郷土料理から発展したものです。

具材の中のごぼうは豊作の時に飛来する瑞鳥ずいちようの姿が黒くごぼうに似ていることから五穀豊穡の縁起を担いでいるとされ、縁起がいいものとされています。また、細く長く生き続けますようにという意味も込められています。にんじんとごぼうで市松模様に飾られ、紅白でめでたいとも言われ、おせちにも使われています。ぜひご家庭で作ってみてはいかがでしょうか。

ワンポイントアドバイス

煮汁は煮詰めたほうがおいしくなります。付け合わせにインゲンやアスパラガスなどを添えると、彩りがよくなります。



ごぼうの働きについて

ごぼうは食物繊維がとても豊富に含まれており、レタスの5.2倍、大根の4.4倍とされています。食物繊維は糖質や脂質の吸収を抑える働きがあり血糖の上昇を防ぐ効果があります。また、食物繊維は胃や腸で吸収されずに大腸まで届き、大腸の動きを促進してくれることから、便通をよくする働きもあります。

●材料(2人分)

豚モモスライス 160g
(薄切り8枚程度)
ごぼう 40g
にんじん 40g

調味料

・醤油 12g(小さじ2杯)
・砂糖 6g(小さじ1杯)
・みりん 2g(小さじ1/3杯)
・和風顆粒だし 0.2g(少々)

●1人分の成分値

熱量 155kcal
炭水化物 9.1g
脂質 4.8g
たん白質 18.3g
食塩 0.9g



●作り方

- 1 ごぼうを縦1/4、にんじんをごぼうと同じ形状に切る。
- 2 ごぼうとにんじんをゆでる。
- 3 豚肉をバットの上に平たく並べる。
- 4 ごぼう、にんじんを市松模様になるように肉の上に乗せて巻く。
- 5 調味料を混ぜておく。
- 6 4を鍋に並べ、5の調味料を浸る程度まで入れて煮込む。
- 7 食べやすい大きさに切り、盛り付ける。

年越し・新年は特別な食事を食べる機会が多いと思います。

当院では、入院患者さんに12月31日に年越しそば、1月1日、1月2日におせちが提供されます。



栄養相談のご案内

健康診断で食事に気をつけてと言われたけど...



食事を食べるとせき込んだりむせたりするんだけど...



糖尿病って言われたけれど...白ご飯を食べなければいいのかしら？



管理栄養士とお食事について一緒に考えませんか

対象の方 ☐ 糖尿病 ☐ 高血圧症 ☐ 高コレステロール(脂質異常症) ☐ 高中性脂肪(脂質異常症)
☐ 腎臓病 ☐ 肝臓病 ☐ 貧血 ☐ 小児肥満 ☐ 摂食機能低下 ☐ 低栄養 など

日 時 1回 30分
月曜日～金曜日 9:00～14:30 / 土曜日 10:30～11:30

費 用 保険診療となります

ご希望の方は主治医にご相談ください

topics ①

お薬の受け取り方法が 変わります



院外処方せんをあらかじめ保険調剤薬局へ送るためのFAX機を、患者支援コーナー横に設置しています。患者さんあるいはご家族が送信できるようになっています。是非ご活用ください。

お薬の受け取りには処方せん原本が必要ですので、忘れずに送信した保険調剤薬局へお持ちください。

院内調剤終了のお知らせ

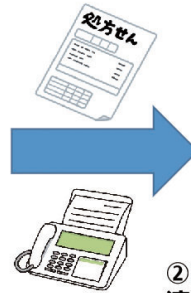
当院では、**2025年1月31日(金)**をもって院内調剤を終了し、翌日よりすべてのお薬を院外処方せんへと変更いたします。これに伴い、あらかじめご利用いただける保険調剤薬局のご確認をお願いいたします。お手順をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

お薬を受け取るまでの流れ

総合受付



① 診察後、総合受付にて「**院外処方せん**」を受け取ってください



保険調剤薬局



② 調剤薬局に「**院外処方せん**」を渡し、お薬を受け取ってください

※処方せんの期限は発行日を含め4日ですのでご注意ください(土・日・祝日を含む)

topics ②

柏市立柏病院 骨粗しょう症デー

「世界中から骨粗しょう症をなくす」ことを目標に、毎年10月20日を世界骨粗しょう症デー(WOD)に制定し、啓蒙活動の一環として、ブルーライトアップが兵庫県姫路城や石川県金沢駅など日本中の様々な場所で行われています。

当院も昨年の10月にライトアップと11月に骨密度測定などを行うイベントを開催いたしました。

イベントには柏市内外から180名の多くの方々がご来院され大変ご好評いただきました。参加された方々は骨密度測定や専門職によるミニ講座を聴講し、骨粗しょう症予防についての知識を深めていただきました。



▲ミニ講座



▲骨密度測定

今年の秋も
開催予定です。

整形外科
南 徳彦 先生



ライトアップの様子▶



『頼れるドクター』（地域の病院紹介）に掲載されました

病院や医師の思いを届ける情報誌『頼れるドクター千葉市・東葛』（2024年9月30日発行）に当院の院長ほか、4つの診療科（消化器内科・循環器内科・小児科・眼科）が紹介されました。

病院が力を入れている医療の内容や、医師が日頃思っていることなどが記事になっています。

書店や通販での販売のほか、銀行や官公庁に置かれていることが多いようです。目に留まりましたら是非、お手にとってご覧ください。

当院はもちろん、近隣の病院などの情報も掲載されていますので、病院選びの参考にされてみてはいかがでしょうか。

今後も、スタッフ一同で地域の皆様の健康を守るために取り組んでまいります。



もっと伝わる広報誌に…引き続きご協力をお願いします

第42号から開始したアンケートではたくさんの方にご回答いただき、誠にありがとうございました。いろいろなご意見をいただき広報委員会メンバー一同励みになりました。「内容量がやや物足りなく感じる」というお声が多数ありましたので、ページ数を増やしました！

皆様からのご意見は今後も広報誌『かし和』の更なる向上に活かしていきますので、引き続きアンケートのご協力をよろしくお願いいたします。



アンケートは
こちらから

回答方法 下記のどちらかの方法でご回答ください

- ・アンケート用紙に記入後、院内に設置されている回収BOXに入れてください
- ・右のQRから回答してください

スタッフ募集

業務拡大
につき

私たちと一緒に
働きませんか？

- ◆ 臨床工学技士（常勤）
- ◆ 作業療法士（常勤）
- ◆ 薬剤師（常勤）
- ◆ 栄養士もしくは調理師（常勤）
- ◆ 総合事務職：医事課（常勤）
- ◆ 看護師（常勤）
- ◆ 看護助手（常勤）



お問い合わせ

担当：総務課 田中
電話：04-7134-2000
Email: kashiwa_info@kashiwacity-hp.or.jp

看護部

『2026年・2027年卒 看護師就職説明会』を行っています。詳しくはこちらから▶



詳しくは病院ホームページ「求人のご案内」をご覧ください

編集後記

2024年4月に新院長が就任し、広報委員会も新体制となり、広報誌『かし和』は前回の第42号でデザインを大きくリニューアルしました。新しく始めたアンケートにも多くの方に回答いただき、皆様の声をお聞きしながら、今回の第43号はページ数を増やして、更にパワーアップしています！今後も、もっと柏市立柏病院を知っていただくことで、皆様との懸け橋になるような広報誌をお届けしたいと思ひます。

眼科 古瀬
(広報委員会 委員長)

健康と地域医療の発展に寄与する千葉県救急告示病院



公益財団法人柏市医療公社

柏市立柏病院

Kashiwa Municipal Hospital

〒277-0825 千葉県柏市布施1-3
TEL: 04-7134-2000



柏市立柏病院ホームページ
http://www.kashiwacity-hp.or.jp/

※バックナンバーをご覧いただけます

※本誌の無断転用・転載はご遠慮ください。